



もしも、がんと言われたら

がんと診断をされたとき、多くの患者さんやご家族は、大きな衝撃を受け、気持ちのつらさを感じます。

がん診療連携拠点病院に指定された当院では、専門的ながん診療を提供するとともに、さまざまな支援を行う体制を整えています。



心や体に生じたつらさを和らげます

外来受診や入院時、**【気持ちや身体のつらさに関する質問票】**をお配りしています。ぜひ、今の症状をお聞かせください。

がんに伴う苦痛を支えます

がんに伴う苦痛は、身体的（痛みや息苦しさなど）、精神的（不安や落ち込みなど）、社会的（職場や家庭、金銭面など）、そして人生の意義にかかわる苦痛などさまざまです。

治療に携わる主治医と一緒に、ケアに関わる医師や看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなどさまざまな医療スタッフが支援いたします。

就労の支援を行います

がんの治療が長引くと、就労の継続や復職が難しい場合があります。就労を維持するための情報提供や事業所との橋渡しを行い、仕事と治療の両立を支援します。



苦痛の緩和、就労、経済的な問題、育児、家族の介護、本人の介助などがんに伴う複合的な課題に対して、さまざまな支援を行います。

日本医科大学千葉北総病院
緩和ケアチーム

問い合わせ先：がん相談支援センター
Tel：0476-99-2057（直通）